

2：プロ野球誘致とスポーツ施設について

今年3月、日本中を歓喜と興奮に包んだスポーツイベントと言えば日本代表チーム侍ジャパンが3大会ぶり3度目の優勝を果たしたワールドベースボールクラシックです。報道によれば日本国内の経済効果は658億円に上るそうで、野球を通じた地域活性化について大きな可能性を感じ以下質問します。

(1) プロ野球球団誘致について

本年3月、北広島市にエスコンフィールド北海道が開業しました。プロ野球日本ハムファイターズの新拠点であり、大規模な複合施設や公園をボールパークとして整備し、プロ野球で200万人、それ以外で100万人が訪れる予定としております。誘致をしたのは北海道北広島市で、人口58,000人という自治体です。誘致に関わった担当者は、誘致の効果をスポーツ振興や観光面と考えていたが、実は教育や子育て、高齢者の外出機会の創出などの福祉、環境や防災など、自治体の全ての分野に深く関わるプロジェクトであり、様々な分野の価値をもたらすと述べられていました。

ア：プロ野球球団が新潟に誕生することの意義と効果についてどのようにお考えでしょうか。

本市にプロ野球球団が誕生することは、プロ野球選手が身近な存在となり、スポーツに取り組む青少年に大きな夢と希望を与えてくれるだけでなく、野球ファンのみならず、市民の皆様がスポーツに親しみ本市への愛着を深めることにつながり、賑わいのあるまちづくりに寄与するものと考えています。

また、地元で試合が開催されることは、市民の皆様の楽しさや喜びの機会を作るだけでなく、県内外から多くの観戦者が訪れることで、経済の活性化が図られるとともに、本市の様々な情報を広く発信することで、交流人口の拡大が期待できるものと考えています。(文化スポーツ部長)

北広島市の誘致に取り組んだ職員は新聞記事で、そこに住む人が、たとえ野球が好きでも嫌いでも、自分たちの自治体に誇りが持てる、シビックプライドの重要性を語っておりました。先ほどのG7の成果もそうですが、シビックプライドの醸成は地方創生を進める上で重要な視点です。まさにプロ野球誘致はシビックプライドの醸成に強く繋がる事業と考えます。次に、昨年の令和4年10月に野球日本伝来150周年を記念したプロ野球選手OB記念試合がハードオフエコスタジアムで開催されました。往年のプロ野球のみならずメジャーリーグでも活躍をされたOBの皆さんが2チームに分かれ、現役さながらの白熱した試合を見ることができました。当日は花角知事、そして中原市長もご出席され、祝辞も述べられました。中原市長はその中で、「NPBの12球団を16球団に増やすという構想のうちの4球団において、是非新潟が加わるように私からも期待したい、関係者の皆様一丸となって誘致活

動にご尽力いただきますことをお願い申し上げたい」とご挨拶されました。この企画を立案された実行委員会の皆様は、新潟にNPBプロ野球球団を誕生させ、更には日本海ドームシティ建設を目指して活動をされている方々で、署名活動を通じ、その機運醸成に取り組んでおられます。本市もプロ野球誘致について平成29年6月議会において、新潟市は県とも連携しながら積極的に取り組むとご答弁されております。

イ：NPBプロ野球球団誘致については、その後の取り組みはどうであったのか、お聞かせください。

本市は、県、野球関係団体、経済界や観光業界などとともに官民が一体となった「プロ野球新潟招致委員会」を平成22年に組織し、NPBプロ野球公式戦を誘致しています。今年の5月に開催された公式戦では、約2万2千人の野球ファンがハードオフエコスタジアム新潟に駆けつけて観戦しました。

また、誘致した公式戦での観戦招待の実施や、プロ野球の監督によるトークショーなどを開催してきました。(文化スポーツ部長)

再：積極的に取り組むとのご発言から今日まで、その進捗について市としてどのように評価されておりますでしょうか？

官民一体となったプロ野球新潟誘致委員会によるプロ野球公式戦の誘致や観戦招待などはプロ野球球団から新潟での盛り上がりを評価していただいております。

また、新潟開催の試合を盛り上げるため、プロ野球の現役監督によるトークショーを開催し、新シーズンに向けた決意や意気込みを語っていただき、新潟で行われる公式戦はもとより、プロ野球自体の関心を高めることができたと認識しております。(文化スポーツ部長)

WBC効果もあり、新潟地区学童軟式野球にも参加者が増え、野球を志す学童が以前よりも増えてきているそうです。熱気が冷めないうちに進めることが重要です。

ウ：改めて新潟市としてプロ野球球団誘致に向けた今後の取り組みについてどのように考えているかお聞かせください。

今後も、引き続き、「プロ野球新潟招致委員会」において、公式戦の誘致などを行い、より多くの市民の皆様がプロ野球にふれる機会を提供し、本市の野球熱を高めていくことで、将来的な球団誘致も視野に入れ、全市的な機運醸成に繋げていきます。(文化スポーツ部長)

再：市長を先頭にプロ野球の誘致に取り組むたいとお声も上がっておりますが、その為にも必要な機運も上がってきているのではないかと思います。この3月には日本海ドームシ

ティプロジェクト新潟市民の会も設立され、プロ野球球団を誘致したいとの機運は高まってきたのではないかと感じます。プロ野球球団誘致に向けやれることは何でもやるとの姿勢が機運醸成にもつながると思います。そのあたりは如何お考えでしょうか。

今年の3月に、本市にNPB加盟球団の誕生と日本海ドームシティの実現を目指す日本海ドームシティプロジェクト市民の会が設立されて大変ご熱心に活動されていると認識しています。

今後市民の皆様から多くの賛同が得られ、本市における機運が高まった時には、NPBの誘致活動について協力してまいりたいと考えております。(文化スポーツ部長)

(2) スポーツ施設の在り方とドームシティについて

NPBプロ野球球団誘致のカギでもある球場建設について、日本海ドームシティプロジェクトの皆様は新たな野球場建設に向け動いておられ、まさに新たなスポーツ施設を本市に誕生させようとしております。本市ではこのスポーツ施設について、今年度、スポーツ施設の在り方検討会を立ち上げるとしており、先日報道もありました。以前議会では老朽化が著しい施設への対応とともに、にぎわいのあるまちづくりの視点を踏まえるとしてありましたし、本市全体のエリアマネジメントを県施設との連携も含めながら考えられるのだろうと思います。

ア：スポーツ施設の在り方検討会について、検討する内容や構成メンバーなどの現状と、導き出された結果がどう施策に反映されるのか、その役割や進め方などお聞かせください。

今月6日に設置しました「新潟市スポーツ施設の未来構想会議」では、スポーツ関係者のほか、まちづくりや経済・観光といった分野における有識者から委員に就任いただきました。第1回目の会議では、スポーツによる本市の拠点性の向上に向けて、スポーツのみならず、まちの賑わいの創出などを検討内容とすることで、委員の皆様から合意していただきました。

当会議において、提言をまとめていただいた後には、その提言をふまえて、県など関係機関と連携しながら、本市の拠点性の向上に向けた施策の立案に活かしていきたいと考えています。(文化スポーツ部長)

日本海ドームシティプロジェクトの皆様の提言もスポーツを通したにぎわいづくりに寄与すると考えます。こういった民間の提言を聞き取り施策に落とすことも未来を見据えたスポーツ施設にとって重要です。このスポーツ施設の在り方検討会において意見聴取もお考えいただきたいと思います。

次に、スポーツ施設の在り方検討会の中では、本市全体を俯瞰したエリアマネジメントの視点も考えられると思いますが、今後10年を目途に廃止する方針の新潟市体育館をはじめ、

老朽化率 96%の新潟市陸上競技場などがある白山地区については早期にまとめる必要があると考えます。白山地区については、日本海ドームシティプロジェクトの皆様がドーム球場建設を提案されており、プロ野球観戦のみならず、コンサートやイベントも開催し、中心市街地へ新たな人の流れを作り、本市経済活性化の起爆剤にしたいと提案をされております。この白山地区の活用を検討するに当たり、昨年度、新規事業として都市の活力創出調査検討事業を行いました。市役所旧分館跡地の暫定利用を含め、白山公園付近一体を活用した都市の活力の創出に向け、手法や実現可能性を調査するとしておりました、

イ：そこで、昨年度の新規事業であった都市の活力創出調査検討事業について、調査の内容と得られた結果はどうであったのか、

昨年度実施した都市の活力創出調査検討業務では、新潟市公式ラインを活用して 2 千人を超える市民からアンケートにご回答をいただき、白山公園付近一帯の理想のイメージとして約 3 割の方から「文化・スポーツ」、約 2 割の方から「公園・憩い・自然」などの回答を得ました。

また、エリアの魅力を高める要素をお聞きしたところ、「物販・飲食」「公園・緑」「子育て・遊具」といった要素によって既存機能を補完することへの期待が多く寄せられました。

調査結果を踏まえ、本館の建替え用地としての旧分館跡地の暫定活用の方向性や、白山公園一帯のエリアから都市の活力を創出していくため、関係各部と連携を図りながら、引き続き、検討してまいります。(政策企画部長)

再：民間事業者等の意向把握、事業スキームの検討について具体的なものはあったのでしょうか？

いくつか民間事業者から分館の跡地の活用についてございました。具体的には、物販、飲食、公園、緑、子育て、遊具、そういったこの地域のイメージに合うものを具体的な提案としていただきました。(政策企画部長)

市役所旧分館は本館の建て替え用地に充てることとしており、本館の建て替え時期まで約 20 数年間あることからそれまでの間は暫定利用するとの方向を示されております。一方で、白山公園周辺をにぎわいの場とすることで、にいがた 2 キロ、古町にも良い影響を与えるとのご認識を示されておりましたが、そうであれば、

再：今回の調査検討の結果を踏まえた上で、本市のにぎわい創出に寄与する高い経済効果を発揮出来る提案であれば、暫定利用がネックになる場合も考えられますが、この当たりの整理はどのようにお考えでしょうか？

旧分館跡地につきましては、本館の建て替え用地として考えておりますが、建て替えまでの

暫定利用が可能な期間につきましては、この度の調査によって得られました要素を考慮しながらその活用を検討してまいりたいと思います。(政策企画部長)

暫定利用と賑わい創出の優先順位は改めて検討すべきではないかと考えます。

NPB プロ野球球団誘致のカギでもあるこの球場建設について、日本海ドームシティプロジェクトの皆様は公民連携を提唱されております。こうした民間のチャレンジを積極的に応援して関わって行ってください。